日々明朗　日々努力

飯豊中学校
令和５年度
第　４　号
令和５年６月１日
文責：金田孝善

勝つことに全力を傾ける姿は美しい

６月に入りました。地区中学総体に向けて、各部とも練習に今まで以上に熱が入っています。大会まで残り１８日に迫った５月３０日、全校朝会で生徒諸君に向かって次のような話をしました。

〈前略〉３年生は今まで２年間、毎日のように取り組んできた部活動の総決算となる大会。何とか勝ちたい、少しでも上位に勝ち進みたいものです。

勝つことはすばらしいことです。もちろん、どんな汚い手を使ってでも、ということではありません。フェアプレーの精神が大切なのは当然です。また、負けたチームはダメなチームだとか、負けることからは何も得るものはないとは決して思いません。

私が言いたいのは、フェアプレーの精神をもって「勝つことに全力を傾ける姿は美しい」ということです。勝つために学ぶ気持ちをもって努力する、自分の持っている全てのものを出し切ろうとする、こういう姿勢というのは、本当に尊いものだと思うのです。

「勝つことだけが全てではない」とよく言われます。たしかにそうでしょう。しかし、それは勝つために最大限努力した人が口にして、初めて本当の意味を持つ言葉であって、努力もしない者が軽々しく使う言葉ではない、というのが私の持論です。

剣道で「百錬自得」という教えがあります。これは、何か目標を持って精一杯努力する、厳しい練習で鍛えて鍛えて鍛え上げた中で何かが得られるというものです。

それぞれの部や個人で目標があると思います。まさか、戦う前から「勝たなくていい」とか「負けてもしょうがない」などと思っている人はいないでしょう。残された時間は多くありませんが、大会まで、勝つために全力を注いでください。日常生活も含めて、何ができるか、何をしなければならないかをよく考え、行動や態度として表してください。この期間で、「百錬自得」、鍛えて鍛えて鍛え上げて、〈裏面に続く〉

自分はやり切った、何かを得ることができたと言えるよう練習に取り組んでください。
　今日から３週間、「勝つために全力を傾ける美しい姿」を見せ、皆さんが自信を持って、いい表情で壮行式の場に、そして試合会場に立ってくれることを期待しています。

全校生が「白川ダム湖畔マラソン大会」に参加

　5月28日(日)、深緑に包まれた白川ダム湖畔公園をスタート・ゴールに、第41回全国白川ダム湖畔マラソン大会が開催されました。本校からは例年、原則全ての生徒と教職員が参加しています。開始前に、校長から「今日の大会参加のキーワードは『本気』と『貢献』。楽しむ気持ちを持ちながらでいいが、全力を出し本気で走ってほしい。また、一般の参加者の方に爽やかなあいさつをしたり声援を送ったりして、この大会に参加してよかった、飯豊町に来てよかったと思っていただけるようにしてほしい。」という話をしました。
　当日は時折小雨も降りましたが、中津川の豊かな自然を満喫しながら、参加した全生徒・全教職員が完走しました。また、事前に話したことを意識して大会に臨み、本気の走りと周囲に気遣った態度で町に貢献できたのではないかと感じています。

〈走る気満々〉

〈勢いよくスタート、よしがんばるゾ!!〉

〈職員も頑張りました〉

〈ゴール目前ラストスパート〉

〈入賞者の表彰、おめでとう！〉

マラソン大会の入賞者

◇10㎞中学男子　第１位　渡部　幹太 さん
　　第２位　菅野　一陽 さん
　　第３位　浅野　蒼仁 さん
◇　5㎞中学男子　第３位　髙橋　優希 さん
◇　5㎞中学女子　第１位　鈴木日向多 さん
　　第２位　須藤　心優 さん
　　第３位　渋谷　美空 さん

雑巾をいただきました

　飯豊町婦人会の方から、今年も雑巾とタオルを寄贈していただきました。清掃に力を入れている本校としては、大変ありがたいことです。大切に使わせていただきます。